



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月14日

上場会社名 株式会社フェニックスバイオ 上場取引所 東
コード番号 6190 URL https://phoenixbio.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 島田 卓
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長 (氏名) 田村 康弘 TEL 082 (431) 0016
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	1,328	△20.0	30	△93.4	32	△92.8	14	△96.3
2023年3月期第3四半期	1,660	77.9	464	—	446	—	393	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 38百万円 (△90.8%) 2023年3月期第3四半期 420百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	3.89	—
2023年3月期第3四半期	117.70	78.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	2,697	1,774	65.2
2023年3月期	3,018	1,514	49.8

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,759百万円 2023年3月期 1,503百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,817	△14.5	8	△98.3	45	△91.0	24	△95.1	6.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 - 社（社名）、除外 - 社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	4,028,133株	2023年3月期	3,633,815株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	45株	2023年3月期	45株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	3,700,246株	2023年3月期3Q	3,346,028株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等の解消	7
4. 補足情報	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が5類に移行し、社会経済活動の正常化が進むなかで緩やかに回復しているものの、エネルギー価格の高騰や円安による物価上昇、海外景気の下振れ懸念など、先行きは依然として楽観視できない状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスを提供しております。

当社グループの主要顧客である製薬企業や研究機関におけるPXBマウスの需要は海外市場を中心に増加しており、多くの引き合いを頂いております。受注高は全体で前年同期を上回り、安全性等分野においては核酸医薬品、遺伝子治療等の医薬品開発でPXBマウスが有用なツールとして認知度が高まっており、マウス販売の大型受注を獲得したことから前年同期を大きく上回りました。一方で、薬効薬理分野については海外製薬企業の予算見直しによる抗B型肝炎薬の開発中止や大幅な延期が相次いだことから低調に推移しており、前年同期を大きく下回りました。売上高については安全性等分野においてマウス販売が堅調であったことから前年同期を上回ったものの、薬効薬理分野では大型案件の反動減や受注の失速により前年同期から大きく落ち込み、全体では減収となりました。損益面につきましては、売上原価は受託試験の外注費が減少したものの、人件費、材料費等が増加しており、販売費及び一般管理費においても人件費を含めた営業経費等が増加していることから、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,328,631千円（前年同期比20.0%減）、営業利益は30,718千円（前年同期比93.4%減）、経常利益は32,092千円（前年同期比92.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,383千円（前年同期比96.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,120,361千円となり、前連結会計年度末に比べ171,755千円減少いたしました。これは主に原材料及び貯蔵品が51,914千円、仕掛品が41,798千円増加した一方で、現金及び預金が173,053千円、売掛金及び契約資産が85,485千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定資産は577,486千円となり、前連結会計年度末に比べ149,058千円減少いたしました。これは主に投資有価証券の償還及び繰延税金資産の取崩しに伴い、投資その他の資産が153,884千円減少したことによるものです。この結果、資産合計は2,697,847千円となり、前連結会計年度末に比べ320,813千円減少となりました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は402,827千円となり、前連結会計年度に比べ883,309千円減少いたしました。これは主に短期借入金が100,000千円、1年内返済予定の長期借入金が80,000千円増加した一方で、1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債が875,000千円、その他が116,615千円、未払法人税等が63,032千円、それぞれ減少したことによるものです。また固定負債は520,947千円となり、前連結会計年度末に比べ302,893千円増加いたしました。これは主に長期借入金が320,000千円増加したことによるものです。この結果、負債合計は923,774千円となり、前連結会計年度末に比べ580,416千円減少となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,774,073千円となり、前連結会計年度に比べ259,602千円増加いたしました。これは主に転換社債型新株予約権付社債の転換等により資本金が108,901千円、資本剰余金が108,901千円、それぞれ増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年11月14日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,555,323	1,382,269
売掛金及び契約資産	286,720	201,235
有価証券	—	100
製品	77,542	52,168
仕掛品	115,037	156,835
原材料及び貯蔵品	172,656	224,570
その他	84,837	103,179
流動資産合計	2,292,116	2,120,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	74,643	76,968
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品(純額)	12,722	25,505
土地	296,000	296,000
リース資産(純額)	22,926	23,900
使用権資産(純額)	124,631	122,055
建設仮勘定	7,594	—
有形固定資産合計	538,518	544,430
無形固定資産	5,227	4,142
投資その他の資産	182,799	28,914
固定資産合計	726,544	577,486
資産合計	3,018,661	2,697,847
負債の部		
流動負債		
買掛金	40,037	12,801
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	80,000
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	875,000	—
未払法人税等	63,032	—
前受金	46,729	48,142
賞与引当金	4,456	8,466
受注損失引当金	—	13,150
その他	256,881	140,265
流動負債合計	1,286,137	402,827
固定負債		
長期借入金	—	320,000
資産除去債務	3,340	3,340
その他	214,713	197,606
固定負債合計	218,053	520,947
負債合計	1,504,191	923,774

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,453,894	2,562,795
資本剰余金	673,803	782,705
利益剰余金	△1,610,432	△1,596,049
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,517,224	1,749,411
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,621	—
為替換算調整勘定	△3,574	10,069
その他の包括利益累計額合計	△14,196	10,069
新株予約権	11,442	14,592
純資産合計	1,514,470	1,774,073
負債純資産合計	3,018,661	2,697,847

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	1,660,292	1,328,631
売上原価	424,355	439,687
売上総利益	1,235,936	888,943
販売費及び一般管理費	771,112	858,225
営業利益	464,824	30,718
営業外収益		
受取利息	1,069	4,176
補助金収入	—	4,164
輸送収入	2,313	1,018
その他	353	227
営業外収益合計	3,736	9,587
営業外費用		
支払利息	2,602	1,525
株式交付費	116	232
為替差損	19,311	6,454
営業外費用合計	22,030	8,212
経常利益	446,530	32,092
特別利益		
投資有価証券償還益	—	17,285
新株予約権戻入益	—	429
特別利益合計	—	17,714
特別損失		
固定資産除却損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	446,525	49,807
法人税、住民税及び事業税	52,950	5,317
法人税等調整額	△248	30,106
法人税等合計	52,701	35,424
四半期純利益	393,823	14,383
親会社株主に帰属する四半期純利益	393,823	14,383

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	393,823	14,383
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	10,621
為替換算調整勘定	26,837	13,644
その他の包括利益合計	26,837	24,266
四半期包括利益	420,661	38,649
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	420,661	38,649

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等の解消

当社グループは、2022年3月期まで5期連続の営業損失を計上しており、前連結会計年度末における転換社債型新株予約権付社債875,000千円の償還期限が2023年12月となっていたことから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりました。

当社グループは当該状況に対して、資金繰りを考慮して銀行借入による500,000千円の資金調達を実施し、十分な事業資金を確保しつつ、期日どおりに転換社債型新株予約権付社債を満期償還いたしました。また、業績面につきましては、成長分野である安全性等分野においてマウス販売が伸長しており、海外市場での売上高の増加に伴い、前連結会計年度は営業利益508,448千円、当第3四半期連結累計期間は営業利益30,718千円を計上いたしました。

上記の状況から、当社グループでは、当第3四半期連結会計期間末において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況は解消したと判断しております。

4. 補足情報

(1) サービス別売上高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	23,432	1.4	60,114	4.5
	海外	846,670	51.0	92,760	7.0
安全性等分野	国内	116,055	7.0	160,783	12.1
	海外	674,133	40.6	1,014,972	76.4
合計		1,660,292	100.0	1,328,631	100.0

(2) サービス別受注高

		前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
		受注高(千円)	受注残高(千円)	受注高(千円)	受注残高(千円)
薬効薬理分野	国内	42,835	24,502	36,810	7,216
	海外	299,185	229,233	26,794	5,271
安全性等分野	国内	135,546	26,279	176,745	23,993
	海外	561,429	358,296	1,451,673	834,334
合計		1,038,996	638,311	1,692,024	870,815

(注) 当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントですが、事業の傾向を示すためサービス別の売上高及び受注高を記載しております。